検証シートの構成

（参考資料）

積極戦略　１　稼げるしごとで活力を

検証シート　（R6年度）

(ア) 第2期総合戦略で掲げる基本目標等をそのまま記載している。

〔基本目標〕　つくる

本市からの人口流出を抑制していく上では、若い世代を中心に東京都や福岡県などへ向かう流れに歯止めをかけ、地元定着を推進することが重要であり、そのためには、地域の稼ぐ力を強化するとともに、市域内に魅力的で安定した雇用の場を確保していかなければなりません。
地域産業の競争力強化や新産業の創出、企業立地の推進などに取り組むことにより、地域の稼ぐ力の強化が図られ、新たな雇用の場が創出されるとともに、若い世代や女性、高齢者などの活躍をあわせて推進することにより、地域における就労機会の拡大にもつながります。
そのような安定した雇用や地域の活力を生み出すまちの創造を目指し、稼げるしごとで活力を「つくる」取組を展開します。

〔基本的方向〕

国内外への販路拡大支援や商品・サービス等の高付加価値化 への支援など地域産業の競争力強化に取り組むほか、新事業・新産業の創出支援や人材の確保・育成に取り組み、地域産業の稼ぐ力の強化を図ります。
また、雇用拡大が期待される企業立地の推進や、若い世代をはじめとする雇用機会の拡大に努めるとともに、女性や高齢者等の活躍促進などに取り組みます。

(イ) 基本目標に掲げる数値目標の令和5年度実績として直近で把握できる値を記載している。

指　標	基準値	目標値（R8）	単位	実績値（R6）	対目標値
事業所数	(H28)　27,279	27,300	事業所	27,279 ＊	－
従業者数	(H28) 274,569	260,200	人	274,569 ＊	－

注)＊は、当該年度の実績値でなく、参考値を示している。（以下同じ。）

＜摘要＞
(1)　評価（ＫＰＩ）
ａ：十分に達成されている
ｂ：概ね達成されている
ｃ：あまり達成されていない

(2)　検証会議の意見
Ａ：引き続き、現状の取組を推進すべきである
Ｂ：全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある

〔主な施策及び重要業績評価指標（KPI）〕

(ウ) 主な施策とそのKPIをそのまま記載している。

(エ) 実績値（R6）及び対目標値、評価を記載している。

主な施策の名称	No.	重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値（R8）	単位	実績値（R6）	対目標値	評価（R6）
(1)地域産業の競争力強化（業種横断的取組）								
①新事業・新産業創出の支援	1	産業振興、創業支援、新事業展開支援資金の利用件数	(R2)　308	1,334	件	587	27.2%	c
		本市の事業活用による商談成約件数	(R2)　10	160	件（5年間）	23	8.7%	
		6次産業化・農商工連携等によってつくられた新商品数	(R2)　6	50	品目（5年間）	20	31.8%	

主な取組内容	具体的な取組の内容　（R6）
経営基盤の安定・強化に向けた融資制度の拡充	広報リーフレットの配付や金融懇談会における取扱金融機関等との意見交換により、経営改善の支援の取組について周知を図った。
事業承継を支援する体制の充実	セミナー（1回）の開催等を通じて、事業承継を契機とした新たな領域への挑戦を支援するとともに、支援機関等と連携のもと事業承継セミナー（1回）を開催し、第三者承継を支援した。（各セミナーへの参加者合計24人）
国内外での展示会や商談会等への出展等、販路拡大への支援	中小企業者等への販路拡大支援として、国内外で開催される商談会等に出展する経費等の助成を15社に対して行い、7件の商談成約につながった。
商店街等の活性化支援	商店街の活性化に向けた主な支援として、イベント開催等の事業に取り組んだ商店街に対して助成を行った。（延べ74団体）
本市農産物等を活用した6次産業化 ・農商工等連携の推進	商品開発のできる施設を供用開始したほか、研修会（12回：参加者202人）の開催や、新商品開発への支援などを通じ、新たに11品が商品化された。その後、イベント等で商品紹介を行うなど販売促進にも取り組み、生産者の所得の向上が図られた。

(オ) R6年度の取組状況を記載している。

KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価

施策の進捗状況等　（R6年度）	今後の方向性（考え方）	検証会議の意見
KPIについては、あまり達成されていない。これは、〇〇〇〇〇〇〇〇によるものと考えられる。 R6年度の取組状況としては、〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇に取り組んだほか、×××××××××を拡充するとともに、△△△△△△に努めた。	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇の取組等を引き続き進める。 また、〇〇〇〇を見直すなど××××の取組を進める。	

(カ) R6年度の取組状況を総括的に記載している。

(キ) 施策の進捗状況等を踏まえたR7年度以降の取組の方向性を記載している。

(ク) 最終的に当該施策に対する検証会議の意見とその評価が記載される。